

平成30年度（前学期）

琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ
(R S E C)

受講生募集要項

国立大学法人 琉球大学

琉大コミュニティキャンパス事業本部

平成30年度（前期）

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ

前期日程（4月～7月）スケジュール

申込期間 平成30年3月12日（月）～3月30日（金）

受講決定通知 平成30年4月3日（火）

サテライト・イブニング・カレッジ（RSEC）関連サイト

<http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/rsec/>

琉大 イブニング



琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ（RSEC）では、
修了要件を満たした受講生に対し、履修証明プログラムを認定します。

履修証明書プログラムとは、RSECで提供する科目で構成された
体系的な知識・技術等の修得を目指したプログラムであり、文部科学
大臣より「職業実践力育成プログラム」（BP）として認定されまし
た。修得したプログラムについては、履歴書等に記載することや職業
キャリア等に活かすことが可能となります。

詳しくは、6ページをご覧ください。



1. RSEC とは

琉大コミュニティキャンパス事業本部では、平成 25 年度に採択された「地(知)の拠点整備事業」の一環として、県内の産業界や各企業及び各種経済団体との固い結びつきの利点を活かしながら、那覇市に琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ(以下 RSEC と記す)を設置し、本学と社会のニーズに適う教育サービスを提供しています。

RSEC で提供する講座は、産業界のニーズを十分に把握し、それに適う実践的・応用的なカリキュラムを用意しており、各企業及び機関から社員や職員を受講生として受け入れることが可能です。また、講座スタイルは、原則的に PBL(Project/Problem Based Learning)と呼ばれる課題解決型学習法を採用しています。具体的には、グループワーク、ロールプレイング、ケース・スタディ、ディスカッション、プレゼンテーション等の学習方法を用いることにより、教えられる受動的な学修だけではなく、自ら考え行動し成果をあげる人材に成長させることを主たる目的としています。

また、平成 27 年度後学期から履修証明プログラムを導入し、プログラム毎に養成する人材をより明確化することとし、修了要件を満たした社会人履修者には学校教育法第 105 条に基づく「履修証明プログラム」の修了認定を受ける事ができます。更に、平成 28 年度からは、本プログラムが大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な課程として文部科学大臣より「職業実践力育成プログラム」(BP: Brush up Program for professional)として認定されました。

このような趣旨で RSEC を開講しますので、一人でも多くの方々にご参加いただき、大いに学問を楽しんでいただきたいと願っています。

なお、平成 29 年度前期は、大同火災海上保険株式会社の協力も得て、「企業経営とコンプライアンス・リスク管理の実務」の講座を開講しています。

2. RSEC の基本理念と今後のテーマ

RSEC の教育の目的は、本学が目指す「地域特性と国際性を併せ持つ大学」の一機関として、沖縄及びアジア太平洋地域の観光に焦点をあて、観光学と経営学の両輪から、理論と実践の融合を目指し、国際的に通用する実践型人材の育成を目指すことにあります。また、RSEC は持続可能な観光と地域振興を基本方針に据えながら、地域に根ざし地域とともに発展する大学として、あらゆる産業に対してその学術的成果を還元し沖縄経済社会の健全なる発展に寄与することを目指しています。

今後のテーマとして、産学官の共同体系をさらに強化し、高度職業人の養成及び社会人のリカレント教育の場として、その機能を十分に発揮し、本学の研究と教育の成果を地域社会に還元する(COC=Center of Community: 知(地)の拠点)を確立することを目指しています。

3. RSEC の教育目的

本構想(琉球大学サテライト・イブニング・カレッジの新設)は、産業界のニーズに対応する教育内容と教育方法の改善と授業提供及び本学の持つシーズに適う実践的・学際的教育システムの強化に焦点を当てています。具体的には、観光経営・観光産業の振興を中軸としつつも、沖縄経済社会全体のニーズを尊重し、あらゆる産業に対して、「地域再生」「地域活性化」「地域興し」につながる実践的かつ応用的な学問的成果を社会に還元することこそが本構想の究極的な目的です。

前述した基本理念と教育目的に基づき、RSEC では、以下のような特性を有する人材を育成することを目指しています。

- ① 高い倫理観を有し持続可能な社会の実現に貢献できる人材。
- ② 高度な専門性と幅広い教養を併せ持ち、総合的な判断を下すことができる人材。
- ③ 地域社会の発展に貢献しうる実践的マネジメント力を行使できる人材。
- ④ 国際感覚と外国語運用能力を身につけ、国際社会で活躍できる人材。
- ⑤ 理論と実践の融合を目指し真実を追究できる人材。

4. 講座及び担当教員

詳しくは、琉大コミュニティキャンパス事業のRSECホームページにシラバスを掲載しています。

*履修証明プログラム対象科目については、6,7ページの構成科目をご覧ください。

講座名	担当教員	備考	履修証明 プログラム 対象番号
内容	初回授業日		
マーケティング実践論：前期	饒平名知也		2
マーケティングの理論を体系的に学習した上で、その理論をビジネスの現場でいかに実践・応用し成果にむすびつけるかを学ぶ。	4月6日(金)		
マネジメント実践論：前期	牛窪 潔		2
経営管理論をベースに、組織における人間行動ならびに管理の本質を理論と実践の関連性を踏まえて学習する。	4月7日(土)		
英語で学ぶマクロ環境分析	牛窪 潔		2
中小企業を取り巻くマクロ環境分析として、日本とアメリカと東アジアに焦点をあて、1980年代から今日に至る歴史的変遷過程を概観する。	4月14日(土)		
マネジメントに必要なビジネス思考×基本ツール×運用力：前期	仲谷 康	隔週 連続講義 (5,6限目)	2
ビジネスにおいて必要なマネジメント思考方法やツールを「知っているレベル」から「運用レベル」に向上させるスキルを身につける。	4月7日(土)		

5. 時間割（前期）

	金曜	土曜（隔週）	
	（ 工作室 ）	（ 工作室 ）	
3 限目 13:00～14:30	—	英語で学ぶマクロ環境分析 【牛窪】	マネジメント実践論 ：前期 【牛窪】
4 限目 14:40～16:10	—	英語で学ぶマクロ環境分析 【牛窪】	マネジメント実践論 ：前期 【牛窪】
5 限目 16:20～17:50	—	—	マネジメントに必要な ビジネス思考× 基本ツール×運用力 ：前期 【仲谷】
6 限目 18:00～19:30	—	—	マネジメントに必要な ビジネス思考× 基本ツール×運用力 ：前期 【仲谷】
7 限目 19:40～21:10	マーケティング実践論 ：前期 【饒平名】	—	—

* 祝祭日は休講になります

6. 社会人の修了要件について

同一講座（前期・後期）を修了した受講生に対して修了証を授与します。

（例）マネジメント実践論：前期＋マネジメント応用論：後期

なお、上述した修了証は、履修証明プログラムの履修証明書とは異なりますのでご注意ください。履修証明プログラムについては、6ページの「琉球大学サテライト・イブニング・カレッジの履修証明書プログラムについて」をご覧ください。

「企業経営とコンプライアンスリスク管理の実務」の講座は、修了証書は対象外となります。

7. 受講場所

琉球大学サテライト・那覇キャンパス
那覇市牧志駅前ほしぞら公民館
（住所：那覇市安里2-1-1）



車利用の場合

併設駐車場有り（有料）

※ご注意：国際通りの交通規制

バスレーン規制（金曜のみ）

県庁→安里向け片側一車線（17:30～19:30）

モノレール利用の場合

「牧志駅」直通、下車1分



バス利用の場合

「安里」バス停から徒歩1分「牧志」バス停から徒歩3分「牧志駅前」バス停から徒歩3分

8. 募集人員

定員は、各クラスそれぞれ15名程度となります。

9. 社会人受講生の応募方法について

琉大コミュニティキャンパス事業本部のホームページの RSEC 応募サイトから申し込みするか、もしくは本募集要項の様式1【応募用紙】および様式2【応募レポート用紙】に必要事項を記入の上、次項12の申込み郵送先に提出して下さい。

なお、応募サイトによる申込み及び郵送（必着）の応募締め切りは平成30年3月30日（金）となります。また、様式2【応募レポート用紙】は、応募サイト又は郵送による申込みのどちらとも、必ず1科目毎に受講目的（400～500字程度）の送信又は提出が必要となりますので、ご注意ください。

10. 受講決定について

受講申込者数が定員を超過した場合等にご送付頂いたレポートの内容を担当教員が厳正に審査した上で受講生を決定させていただきますので、ご了承ください。

11. 受講料(平成30年度前期分)について

受講料は、無料となります。

これまで受講料については、運営に係わる経費の一部を受講者に負担して頂いていたため、有料としていましたが、平成30年度は、那覇市のご協力を頂き、琉球大学サテライト・那覇キャンパス（那覇市牧志駅前ほしぞら公民館）において開講することができ、また、より多くの方に受講をしていただけるよう試行的に受講料を無料と設定しています。なお、平成30年度以降の受講料金額については、変更する場合がありますのでご了承ください。

12. 問い合わせ及び申込み先について

○琉大コミュニティキャンパス事業本部○

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL: 098-895-8085

郵送先及び応募サイト

○郵送先○

国立大学法人琉球大学 琉大コミュニティキャンパス事業本部 事務局

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

○応募サイト○

RSEC公式HP: <http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/rsec/>

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ RSEC履修証明プログラムについて ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

RSECでは、設定された修了要件を満たした社会人受講生の方に対して、学校教育法第105条に基づく「履修証明プログラム」の修了を認定いたします。履修証明プログラムとは、体系的な知識・技術等の習得にあたり総時間数120時間以上の学修を修了した者（主に社会人）に対して修了を認定するものです。平成28年度から本プログラムは、「職業実践力育成プログラム」（BP）として文部科学大臣より認定され、本プログラムの認定を受けることで、RSECでの学修を学修履歴として公的に証明し、職業キャリア等に活かすことが可能となります。

RSECでは、「経営分析・ファイナンス・マクロ環境分析養成プログラム」、「実践的マーケティング・課題解決技法養成プログラム」、「人のマネジメント・リーダーシップ養成プログラム」の3つの履修証明プログラムを提供いたします。各プログラムの詳細については、以下の（1）をご覧ください。なお、各履修証明プログラムにおいて提供される科目は、年度・学期によって開講状況が変動することがありますので、ご了承ください。履修証明プログラムの履修を希望される方は、別途申請が必要となります。詳しくは（3）および（4）に記載していますので、希望される方は必ずご確認ください。

（1）履修証明プログラムの紹介

【1. 経営分析・ファイナンス・マクロ環境分析養成プログラム】

概 要	本プログラムでは、財務諸表、日本経済新聞、経済情報誌等の読み方、分析の仕方、活用の仕方を学び、企業活動とその成果をアカウンティングとファイナンスの枠組みで考察する。具体的には、会計情報公開の意義と役割、財務諸表に基づく経営分析、企業の儲けの仕組み、企業の数字に関わる意思決定、資産と投資のアカウンティングアプローチとファイナンスアプローチの方法等を学んでいく。加えて、日経新聞の活用方法に着眼して、経済、経営、政治、金融といったそれぞれの事象を計量的な数値で捉え、その背景と原因さらには将来的な方向性を定性的に説明できる能力を養成する。
構成 講座・科目	①中小企業経営論（マクロ環境分析）、②財務管理論・基礎、③財務管理論・応用、④経営管理特殊講義XI（ビジネス・アカウンティング基礎）、⑤経営管理特殊講義XII（ビジネス・アカウンティング応用）、⑥経営管理特殊講義III（日経新聞活用講座・基礎）、⑦経営管理特殊講義IV（日経新聞活用法応用）

【2. 実践的マーケティング・課題解決技法養成プログラム】

概 要	本プログラムでは、企業におけるマーケティングの重要性とその役割を体系的に習得することにより、企業が直面するマーケティング上の問題を的確に把握し、原因を分析し、対策的な方向性を提言できる人材を養成する。さらに事業経営において必要なビジネスのWill(意志・思考力)とSkill(技能・方法論)、さらには相互の関連性を学ぶことにより、政策立案能力および戦略策定能力の向上を図り、ビジネスの現場や自治体の現場で発生している問題や課題を効果的に解決することができる人材を育成する。
構成 講座・科目	①経営管理特殊講義V（マーケティング実践論）、②経営管理特殊講義VI（起業家行動論）、③経営管理特殊講義VII（マネジメントに必要なビジネス思考×基本ツール×運用力）、④経営管理特殊講義VIII（マーケティングの要諦と実践ビジネス・プランニング）、⑤経営管理特殊講義IX（PBL戦略策定講座基礎編）、⑥経営管理特殊講義X（PBL戦略策定実践講座応用編）、⑦中小企業のマネジメント特論

【3. 人のマネジメント・リーダーシップ養成プログラム】

概 要	人的資源管理論、組織行動論、マネジメント論をベースに、人的資源の効果的な活用と育成、組織における人間行動ならびに管理の実践的本質を理論と実践の関連性を踏まえて学ぶプログラムである。本プログラムは、人のマネジメント及び組織のマネジメントのフレームワーク及び思考方法を通じて、企業が実際に直面する様々な課題や問題を、論理的かつ体系的に分析し、課題の達成ならびに問題の解決に向けた自身のオリジナリティを提言することができる人材を育成する。
構成 講座・科目	①マネジメント実践論、②マネジメント応用論、③人的資源管理論・基礎、④人的資源管理論・応用、⑤経営管理特殊講義Ⅰ（ライフプラン概論・基礎）、⑥経営管理特殊講義Ⅱ（ライフプラン概論・応用）、⑦中小企業発展特論、⑧中小企業発展論

(2) 履修資格と修了要件

上記1～3の各プログラムとも、次の履修資格と修了要件を満たす者とします。

履修資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄の「地域再生」・「地域活性化」・「地域興し」への貢献を望む者 ・ 学則第25条に規定する本学への入学資格を有する者（高校卒業程度の水準）
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績が、「合」(A、B、C、D)の評価の受講生 ・ 上記構成講座・科目の学修にかかる総時間数が、「135時間（6科目）」以上の受講生

(3) 履修証明プログラムの申請の手続き

履修証明プログラムの履修を希望する場合は、まず、様式1【応募用紙】の「履修証明プログラム」欄において、「申請希望」の意思表示をしてください。次に、様式3【履修証明プログラム履修申請書】において、履修を希望する履修証明プログラムを選択し、これまでに修了した講座・科目に関する情報等、必要事項を記入してください。なお、履修証明プログラムの修了認定の対象となる講座・科目は、「平成27年度前学期以降」に修了した講座・科目となります。

申請にあたっては、上記の様式1【応募用紙】及び様式2【応募レポート用紙】に加え、様式3【履修証明書プログラム履修申請書】および【履修資格を証明する文書（最終学歴の卒業証明書等、高等学校卒業程度の水準以上の能力を有することを証明する書類）】を添えて、琉大コミュニティキャンパス事業本部（詳しくは5ページの12項に記載）へご提出ください。

提出書類

- ・ 様式1【応募用紙】*申請希望にチェック
- ・ 様式2【応募レポート用紙】
- ・ 様式3【履修申請書】
- ・ 履修資格を証明する文書

(4) 履修証明プログラムの修了認定について

履修証明プログラムの修了認定は、履修者が当該の履修証明プログラムが設定する修了要件を満たした学期末に行います。履修証明プログラムの修了認定を受けた方には、後日「履修証明書」が授与されます。なお、履修証明プログラムの認定（履修証明書の発行）にかかる料金は無料で、履修証明プログラム履修申請以外の手続きは発生しません。

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ 応募用紙

ふりがな		性別	1. 男 2. 女
氏名		生 年 月 日	
		西暦	年 月 日生
現住所	(〒)		
	(電話番号は常時、連絡の取れる番号をご記入ください)		
勤務先	TEL :	FAX :	
	職場名		
e-mailアドレス	TEL :	FAX :	
	@		
受講希望講座 *受講希望講座に○印の記入をお願いします*			
マーケティング実践論：前期		マネジメント実践論：前期	
英語で学ぶマクロ環境分析		マネジメントに必要なビジネス思考 ×基本ツール×運用力：前期	
履修証明プログラム			
<ul style="list-style-type: none"> ・該当する箇所に✓をつけてください。 ・新規申請希望の場合は、履修証明プログラム申請書も併せて提出してください。 			
<input type="checkbox"/> 申請希望 (新規) <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 申請しない			
		受付日	担 当

太枠内の記入をお願いします。

申請日：平成 年 月 日

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ

履修証明書プログラム履修申請書

琉大コミュニティキャンパス事業本部長 殿

氏 名：

生年月日： 年 月 日

下記のとおり琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ「履修証明プログラム」の履修を申請します。

【履修証明プログラム名】 ※右欄の該当する番号に1つに○をつけてください。	1. 経営分析・ファイナンス・マクロ環境分析養成プログラム 2. 実践的マーケティング・課題解決技法養成プログラム 3. 人のマネジメント・リーダーシップ養成プログラム
---	--

	講 座 ・ 科 目 名	履 修 年 度 / 学 期
【既に修了した講座科目】 ※当該プログラムにおいて修了した科目を右欄にご記入ください。		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期

添付書類：【必須】履修資格を証明する文書

(最終学歴の卒業証明書等、高等学校卒業程度の水準以上の能力を有することを証明する文書)